歴史学コース　学習ポートフォリオ

（2019年度入学生用）

　この「歴史学コース　学習ポートフォリオ」は、歴史学コース学生の皆さんが、歴史学コースでの学習を記録に残し、卒業論文に至る道のりを確認するための道具です。歴史学コースのカリキュラムには、各年次に全員が必ず提出あるいは発表すべき課題があります。これらを一つ一つクリアしていくことで、卒業論文作成、そして、卒業へと近づいていきます。このポートフォリオはその過程を一つのファイルに収めるために作成されました。内容は以下の通りです。レジュメの書式は参考ですので、各年度の教務担当の教員の指示に従ってレジュメを作成して下さい。また、括弧内は、今後皆さんが作成したレポートや配布資料をファイルして下さい。

１．１年次読書レポート課題図書リスト……………３

　＜書評レポート＞

２．１年次入門レポート　テーマ提出書……………６

３．１年次入門レポート　構想発表レジュメ……………７

　＜入門レポート＞

４．１年次入門レポート　事後面談メモ……………８

５．２年次リサーチ論文　テーマ提出書（第１次）……………９

６．２年次リサーチ論文　テーマ提出書（第２次）……………1０

６．２年次リサーチ論文　相談メモ……………１１

７．２年次リサーチ論文　事後面談メモ……………１２

９．３年次卒業論文構想発表会　テーマ提出書……………１３

８．３年次卒業論文構想発表会レジュメ……………１４

　＜卒業論文作成の手引き＞

　＜卒論ガイダンス資料＞

９．４年次卒業論文準備報告レジュメ……………１５

１０．卒業論文口頭試問要領……………１７

１年次　読書レポート課題図書リスト（2017年度版）

１. 歴史学とはどういう学問か（歴史学の入門・歴史学の方法・歴史学の歴史）

* マルク・ブロック『歴史のための弁明』新版，岩波書店，2004年（1956年）．
* E. H. カー『歴史とは何か』岩波新書，1962年．
* ジョン・アーノルド『歴史』福井憲彦監訳，岩波書店，2003年．
* 福井憲彦『歴史学入門新版』岩波書店，2019年．
* 色川大吉『歴史の方法』大和書房，1977年（復刻版：岩波書店同時代ライブラリー，1992年）．
* 小谷汪之『歴史の方法について』東京大学出版会，1985年．
* 遅塚忠躬『史学概論』東京大学出版会，2010年.
* 安丸良夫『〈方法〉としての思想史』校倉書房，1996年．
* 鈴木公雄『考古学入門』東京大学出版会，1988年．
* V・G・チャイルド『考古学の方法』河出書房，1974 年．
* 藤本強『考古学を考える：方法論的展望と課題』増補版，雄山閣出版，1994年．
* ヴァーノン・ハイド・マイナー『美術史の歴史』北原恵ほか訳，ブリュッケ　2003年．
* 若桑みどり『イメージの歴史』放送大学教育振興会，2000年．
* ピーター・バーク『時代の目撃者 : 資料としての視覚イメージを利用した歴史研究』中央公論美術出版　2007年．
* ピーター・バーク『文化史とは何か』増補改訂版，法政大学出版局，2010年．
* ゲオルク G. イッガース『20世紀の歴史学』晃洋書房，1996年．
* 永原慶二『20世紀日本の歴史学』吉川弘文館，2003年．
* ノーマン・J・ウィルソン『歴史学の未来へ』南塚信吾, 木村真監訳，2011年．
* 長野ひろ子『ジェンダー史を学ぶ』吉川弘文館，2006年．
* ジョーン・W・スコット『ジェンダーと歴史学』平凡社ライブラリー，2004年（平凡社，1992年）．
* ソニア・O・ローズ『ジェンダー史とは何か』法政大学出版会，2016年．
* リン・ハント『グローバル時代の歴史学』岩波書店，2016年．
* 成田龍一『近現代日本史と歴史学 - 書き替えられてきた過去』中公新書，2012年．

２．歴史を考えるヒントとして

* 網野善彦『歴史を考えるヒント』新潮選書，2001年．
* 網野善彦『日本とは何か』（日本の歴史 00巻）講談社学術文庫，2008年（初版：講談社，2000年）．
* 阿部謹也『自分のなかに歴史を読む』ちくま文庫，2007年（筑摩書房，1988年）．
* 板垣雄三『歴史の現在と地域学』岩波書店，1992年．
* 二宮宏之『全体を見る眼と歴史家たち』平凡社ライブラリー，1995年（木鐸社，1986年）．
* 藤田省三『全体主義の時代経験』みすず書房，1995年．
* 高橋哲哉『歴史/修正主義』（思考のフロンティア）岩波書店，2001年．
* エドワード・サイード『オリエンタリズム　上・下』平凡社ライブラリー，1993年．
* ベネディクト・アンダーソン『定本　想像の共同体：ナショナリズムの起源と流行』書籍工房早山，2007年（増補版：NTT出版，1997年）．
* I. ウォーラーステイン『史的システムとしての資本主義』 新版，岩波書店，1997年（1985年）．
* 歴史学研究会編『歴史学のアクチュアリティ』東京大学出版会，2013年．

３．歴史学の面白さ・深さを知るための入り口として

* 鈴木公雄『考古学とはどんな学問か』東京大学出版会，2005年．
* コリン・レンフルー，ポール・バーン『考古学：理論・方法・実践』東洋書林，2007年．
* 泉拓良ほか『考古学‐その方法と現状‐』放送大学教育振興会，2009年．
* 佐々木憲一ほか『はじめて学ぶ考古学』有斐閣，2011年．
* 小林達雄『縄文人の世界』朝日新聞社，1996年．
* 菱田哲郎『古代日本国家形成の考古学』京都大学学術出版会，2007年．
* 石母田正『歴史と民族の発見：歴史学の課題と方法』 平凡社ライブラリー，2003年．
* 石母田正『中世的世界の形成』復刻版，岩波文庫，1985年．
* 網野善彦『無縁・公界・楽』増補版，平凡社ライブラリー，1996年．
* 安丸良夫『日本の近代化と民衆思想』平凡社ライブラリー，1999年（青木書店，1974年）．
* ひろたまさき『文明開化と民衆意識』青木書店，1980年．
* 牧原憲夫『客分と国民のあいだ：近代民衆の政治意識』吉川弘文館，1998年．
* 安田浩『天皇の政治史 : 睦仁・嘉仁・裕仁の時代』青木書店，1998年．
* 良知力『青きドナウの乱痴気：ウィーン1848年』平凡社ライブラリー，1993年（1985年）．
* 南塚信吾『義賊伝説』岩波新書，1996年．
* カルロ・ギンズブルグ『チーズとうじ虫：16世紀の一粉挽屋の世界像』新装版，みすず書房，1995年．
* 川北稔『洒落者たちのイギリス史：騎士の国から紳士の国へ』平凡社ライブラリー，1986年．
* 土屋健治『カルティニの風景』めこん，1991年．
* 桃木至朗・樋口英夫・重枝豊『チャンパ：歴史・末裔・建築』めこん，1999年．
* 深沢克己『海港と文明』山川出版社，2002年．
* C. V. ウッドワード『アメリカ人種差別の歴史』新装版，福村出版，1998年．
* 保坂高殿『ローマ史のなかのクリスマス』教文館，2005年．
* 田川健三 『イエスという男 第2版』増補改訂版，作品社， 2004年．
* 佐藤次高『マムルーク：異教の世界からきたイスラムの支配者たち』東京大学出版会，1991年．（新装版，2013年）
* 広河隆一『パレスチナ』岩波新書，2002年．
* 藤田進『蘇るパレスチナ：語りはじめた難民たちの証言』東京大学出版会，1989年．
* 小谷汪之『大地の子（ブーミ・プトラ）：インドの近代における抵抗と背理』東京大学出版会，1986年．
* 清水透『エル・チチョンの怒り：メキシコにおける近代とアイデンティティ』東京大学出版会，1988年．
* 吉見義明『草の根のファシズム：日本民衆の戦争体験』東京大学出版会，1987年．
* 清水克行『喧嘩両成敗の誕生』講談社選書メチエ，2006年．
* 武井弘一『鉄砲を手放さなかった百姓たち』朝日選書，2010年．
* 長谷川昇『博徒と自由民権』平凡社ライブラリー，1995年．
* 中里成章『パル判事：インド・ナショナリズムと東京裁判』岩波新書，2011年．
* 「シリーズ 日本の中の世界史」全7冊（岩波書店、2018―9　＊5巻まで既刊）

　南塚信吾『19世紀世界の中の日本　―「連動」する世界史』

　木畑洋一『帝国航路（エンパイアルート）を往く　―イギリス植民地と近代日本』

　小谷汪之『中島敦の朝鮮と南洋　―二つの植民地体験』

　久保亨　『日本で生まれた中国国歌 －「義勇軍行進曲」の時代』

　油井大三郎　『平和を我らに　―越境するベトナム反戦の声』

４．レポート課題の対象外の推薦図書

* 菅原憲二・安田浩編『国境を貫く歴史認識』青木書店，2002年．
* 三宅明正・山田賢編『歴史の中の差別 ：「三国人」問題とは何か』日本経済評論社，2001年．
* 長野ひろ子, 姫岡とし子編『歴史教育とジェンダー：教科書からサブカルチャーまで』青弓社，2011年．
* 近藤和彦編『西洋世界の歴史』山川出版社，1999年．
* 総合女性史学会/辻 浩和/長島 淳子/石月 静恵（編）『女性労働の日本史―古代から現代まで』勉誠出版、2019年．

１年次　入門レポート　テーマ提出書

提出日：

学生証番号　　　　　 　　　　 氏名

１．予定テーマ

２．テーマを選んだ理由

３．テーマに関して読んだ（読む予定の）文献

４．相談したい事柄

１年次　入門レポート　構想発表レジュメ

報告日：

学生証番号　　　　　 　　　　 氏名

１．テーマ

２．テーマを選んだ理由・問題意識

３．中間報告（これまで調べてわかったこと）

４．今後の課題・方向性

５．参考文献

１年次　入門レポート　事後面談メモ

作成日：

学生証番号　　　　　 　　　　 氏名

１．レポート題目

２．事後面談

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 教員名 | 日時 | 印 |
| 担当教員１ |  |  |  |
| 担当教員２ |  |  |  |

３．メモ

２年次　リサーチ論文　テーマ提出書**（第１次）**

提出日：

学生証番号　　　　　 　　　　 氏名

１．予定テーマ

２．テーマを選んだ理由・問題意識

３．テーマに関して読んだ（読む予定の）文献

４．希望する指導教員

　（１）　　　　　　　　　　　　　　　　（２）

５．相談したい事柄

２年次　リサーチ論文　テーマ提出書**（第２次）**

提出日：

学生証番号　　　　　 　　　　 氏名

１．予定テーマ

２．テーマを選んだ理由・問題意識

３．テーマに関して読んだ（読む予定の）文献

４．希望する指導教員

　（１）　　　　　　　　　　　　　　　　（２）

５．相談したい事柄

２年次　リサーチ論文　相談メモ

 提出日：

学生証番号　　　　　 　　　　 氏名

１．予定テーマ

２．テーマを選んだ理由・問題設定

３．論文の構成予定

４．参考文献（読了、未読・入手済、未読・未入手を区別する）

２年次　リサーチ論文　事後面談メモ

作成日：

学生証番号　　　　　 　　　　 氏名

１．リサーチ論文題目

２．事後面談

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 教員名 | 日時 | 印 |
| 担当教員１ |  |  |  |
| 担当教員２ |  |  |  |

３．メモ

３年次　卒業論文構想発表会　テーマ提出書

 提出日：

学生証番号　　　　　 　　　　 氏名

１．予定テーマ

２．テーマを選んだ理由・問題設定

３．テーマに関して読んだ（読む予定の）文献

４．希望する指導教員

歴史学コース3年次　卒業論文構想発表会レジュメ

※ゴチック体でない部分は作成時に消去してよい。

　　　　　学生証番号：　　　　　　　　　　　氏名：

指導教員：

出席できない時間帯（出席は必須、原則全日参加）：

１．予定題目（テーマ）

２．問題意識・研究目的（なぜその問題を採り上げるのか、何を対象にし、何をどのように明らかにしたいのか）

３．研究史・先行研究（これまでの研究では、どのようなことが言われているか。それらのどこに問題点や不足があるか）

４．論文の構成予定（どのような組み立てになる予定か）

５．使用予定文献・史資料

６．希望進路

歴史学コース４年次　卒業論文準備報告レジュメ

　　　　　　学生証番号：　　　　　　　　　　　氏名：

※ゴチック体でない部分は作成時に消去してよい。

指導教員：

予定論文題目：

１．問題設定（なぜその問題を取り上げたのか、それを取り上げる意義はどのようなものか、どのような視角から問題にしようとしているのか）

２．研究史（その問題についてどのようなことが明らかになっているのか、どのような問題意義から取り上げられてきたのか、何が課題として残されているのか、新しく取り上げなければならない理由は何か、など）

３．論文の構成（章・節）

４．おもに利用を予定している史資料（文献史料、モノ、図像など。資料が刊行物の場合は、必ず編著者名、書名、出版社名、刊行年を明記すること。非刊行物の場合は、その対象と所在を明記すること）

５．卒業後の進路希望：

※やむを得ない事情で当日出席できない時間帯：

いよいよ、卒業です。

歴史学コース　卒業論文を提出した

みなさん

卒業論文口頭試問を以下の要領で行います。

日時：

場所：

卒業論文の口頭試問は単位取得の条件です。必ず出席してください。

当日のプログラムを参照のうえ、予定時刻の15分前には控え室に来て下さい。

なお、重要事項が二つあります。

①　A3用紙一枚にまとめた卒論レジュメを　　部持参してください。

レジュメには以下の情報を入れてください。

１．論文タイトル、氏名、学籍番号、指導教員名

２．論文の構成

３．論文の要約

４．論文の意義・独創性

５．主要な史資料

６．卒業後の進路・就職先

②　当日は3分間で論文のあらましとそのメリットについて紹介してもらいます。時間を計りますので、3分を越えないようにあらかじめ準備してください。

③　自分の卒業論文のコピーを持参して下さい。